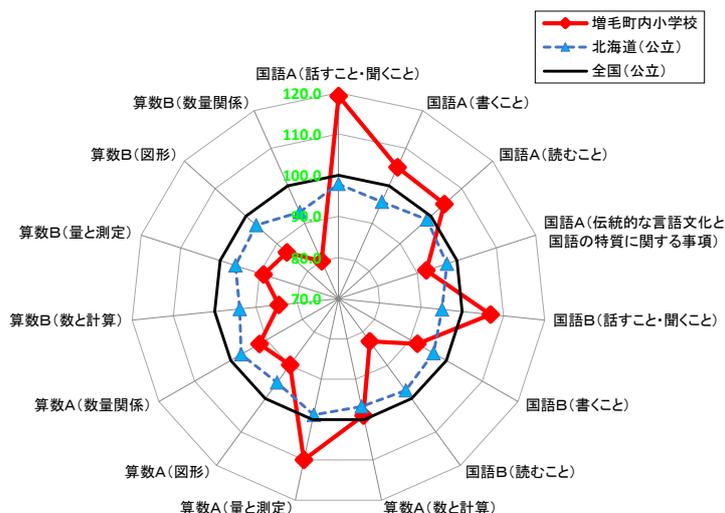


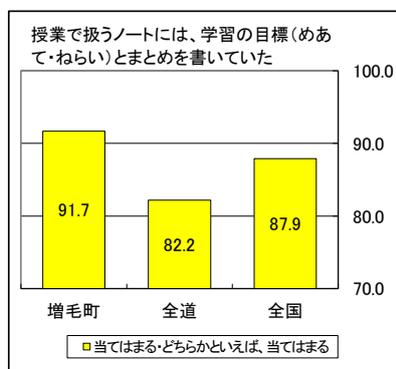
■増毛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:36名)

【教科全体の状況】

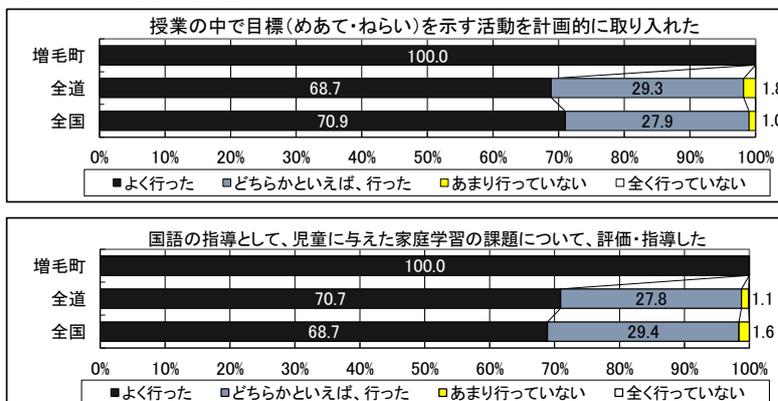
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国を、「数と計算」で、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童に示す活動の充実を図ったことにより、学習の目標やまとめをノートに書く児童が増え、国語・算数の多くの領域で全国及び全道を上回るなど、学力の向上につながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が国語の指導として児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導したことにより、国語では4つの領域で全国を上回る成果につながったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

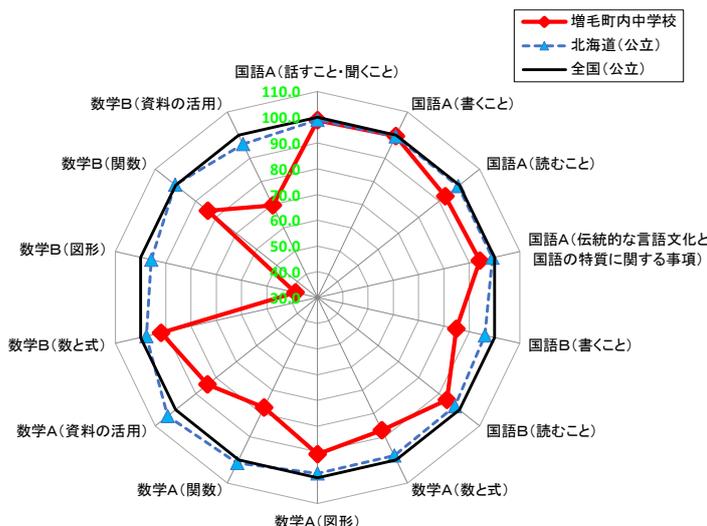
【増毛町の学力向上策】

- ◎ 加配を活用したTTによる指導や習熟度別指導の推進
- ◎ 各学校と連携した長期休業中の学習サポートの企画・運営
- ◎ 繰り返し学習の徹底(朝学習・放課後を利用した学習)
- ◎ 家庭学習の定着、充実のための家庭との連携

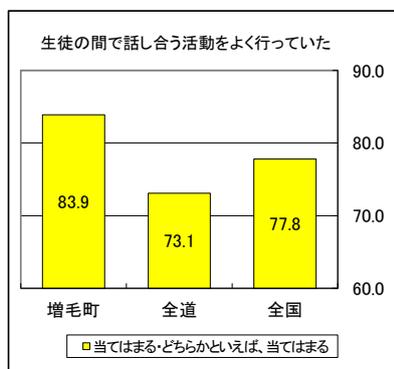
■増毛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:31名)

【教科全体の状況】

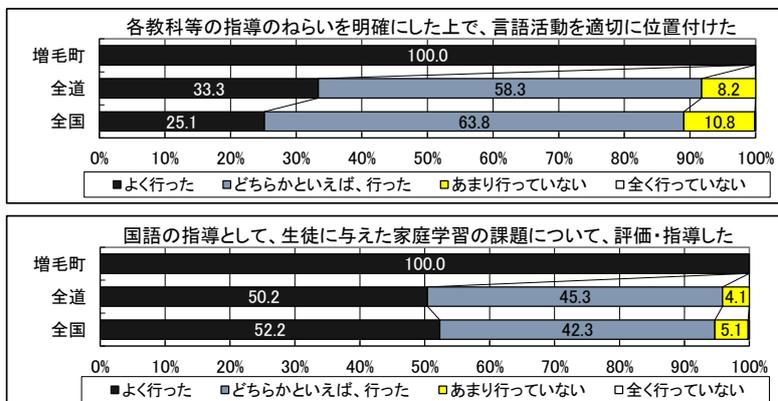
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、全国とほぼ同様になっている。 ○ 数学Bでは、「数と式」で、全国との差が最も小さくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が各教科等のねらいを明確にした上で、言語活動の取組をよく行ったことにより、生徒の言語活動が充実し、学力の向上につながったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒の間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導したことにより、国語では2つの領域で全国とほぼ同様になるなど、学力の向上につながったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導した」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

【増毛町の学力向上策】

- ◎ 加配を活用したTTによる指導や習熟度別指導の推進
- ◎ 各学校と連携した長期休業中の学習サポートの企画・運営
- ◎ 繰り返し学習の徹底(朝学習・放課後を利用した学習)
- ◎ 家庭学習の定着、充実のための家庭との連携